資料７－１

2015 年登山道侵食調査

北海道大学大学院地球環境科学研究院・環境科学院
渡辺　悌二・小林勇介

登山道侵食調査に関わる調査を以下の３箇所で行う予定です。

【場所１】姿見＝旭岳＝中岳分岐＝裾合平＝愛山渓・姿見
【時期】８月末から９月末
【調査方法】コンパクトデジタルカメラを用いた写真測量。ルート上の約 60 カ所のポイントにて撮影を行います。撮影をする際は様々な角度から写真を多く撮る必要があり時間を要するため，登山者数がピークを過ぎた 9 月ごろに実施する予定です。また，撮影の際は周りの植生に害を与えないよう注意を払います。日程は天候が良好であれば 3 日ほどで終わる予定です。
調査者：北海道大学大学院地球環境科学研究院（渡辺，小林，石川，張）

【場所１】の調査予定地域

【場所２】北海岳＝北海平＝白雲分岐，および**【場所３】**黒岳石室周辺
【時期】７月末の平日（３，４日間）および９月の平日（３，４日間），ただし，天候で変更の可能性があります。
【調査方法】北海岳～北海平および黒岳石室周辺で，侵食されやすい堆積物の厚さ推定を行い，将来の侵食予測に繋げます。侵食されやすい堆積物の厚さの推定には，土壌のコンパクションを測定する「非破壊式」の測定装置 PANDA2 を用います。PANDA2 は通常，森林帯などで土層のコンパクション（圧密度）を測定するために開発された機械で，直径 1.5 cm ほどの金属棒を上からたたいて，その際の抵抗（地中への入り安さ）から土層のコンパクションを計算します。侵食されやすい土層では数値が小さいのに対して，侵食されにくい（されない）層に達すると数値が非常に大きくなり，その差